

【表紙】

| | |
|------------|--------------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 2019年11月13日 |
| 【四半期会計期間】 | 第125期第2四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日） |
| 【会社名】 | わかもと製薬株式会社 |
| 【英訳名】 | WAKAMOTO PHARMACEUTICAL CO.,LTD. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 小島 範久 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都中央区日本橋本町二丁目2番2号 |
| 【電話番号】 | (03)3279-0371(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 広報室長 福原 和彦 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都中央区日本橋本町二丁目2番2号 |
| 【電話番号】 | (03)3279-0371(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 広報室長 福原 和彦 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第124期 第2四半期 累計期間 | 第125期 第2四半期 累計期間 | 第124期 |
|-------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自2018年 4月1日 至2018年 9月30日 | 自2019年 4月1日 至2019年 9月30日 | 自2018年 4月1日 至2019年 3月31日 |
| 売上高 (千円) | 5,226,498 | 5,381,050 | 10,739,976 |
| 経常損失 () (千円) | 29,824 | 886,173 | 409,169 |
| 四半期(当期)純損失 () (千円) | 31,465 | 1,622,889 | 181,280 |
| 持分法を適用した場合の投資利益 (千円) | - | - | - |
| 資本金 (千円) | 3,395,887 | 3,395,887 | 3,395,887 |
| 発行済株式総数 (千株) | 34,838 | 34,838 | 34,838 |
| 純資産額 (千円) | 14,325,843 | 12,012,837 | 13,760,978 |
| 総資産額 (千円) | 18,159,594 | 16,094,597 | 17,764,006 |
| 1株当たり四半期(当期)純損失 () (円) | 0.91 | 46.76 | 5.22 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円) | - | - | - |
| 1株当たり配当額 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 78.89 | 74.64 | 77.47 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー (千円) | 264,069 | 540,801 | 114,493 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー (千円) | 168,472 | 19,466 | 205,470 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー (千円) | 184,925 | 42,225 | 266,799 |
| 現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円) | 3,759,248 | 2,659,319 | 3,261,813 |

| 回次 | 第124期 第2四半期 会計期間 | 第125期 第2四半期 会計期間 |
|---------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自2018年 7月1日 至2018年 9月30日 | 自2019年 7月1日 至2019年 9月30日 |
| 1株当たり四半期純損失 () (円) | 3.80 | 38.41 |

(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在してしないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和策を背景に、企業収益や雇用環境の改善等により緩やかな回復基調で推移しましたが、海外における中国景気の減速や長期化する米中間の貿易摩擦等による政治・経済動向の不確実性が高まっており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

医薬品業界におきましては、後発品使用促進策や長期収載医薬品の薬価引下げなどの薬剤費抑制政策が継続的に推し進められ、引き続き厳しい事業環境にあります。このような経済状況のもとで当社は、医薬事業、ヘルスケア事業、国際事業を中心に事業を推進してまいりました。

この結果、当事業年度の財政状態及び経営成績は以下のとおりとなりました。

a. 財政状態

当第2四半期会計期間末における総資産は、160億9千4百万円となり前事業年度末比16億6千9百万円(9.4%減)の減少となりました。流動資産は86億6千3百万円となり9億6千万円(10.0%減)の減少、固定資産は74億3千万円となり7億8百万円(8.7%減)の減少となりました。

流動資産が減少いたしましたのは、商品及び製品ならびに仕掛品が増加した一方、現金及び預金が減少したことが主たる要因であります。固定資産が減少いたしましたのは、繰延税金資産が減少したことが主たる要因であります。

一方、負債の部は、40億8千1百万円となり前事業年度末比7千8百万円(2.0%増)の増加となりました。流動負債は24億6千1百万円となり2億4千6百万円(9.1%減)の減少、固定負債は16億2千万円となり3億2千5百万円(25.2%増)の増加となりました。

流動負債が減少いたしましたのは、支払手形及び買掛金が減少したことが主たる要因であります。一方、固定負債が増加いたしましたのは、繰延税金負債が増加したことが主たる要因であります。

純資産の部は、120億1千2百万円となり前事業年度末比17億4千8百万円(12.7%減)の減少となりました。繰越利益剰余金が減少したことが主たる要因であります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の77.5%から74.6%となりました。

b. 経営成績

当第2四半期累計期間の売上高は53億8千1百万円(前年同期比3.0%増)、営業損失9億円(前年同期は営業損失4千4百万円)、経常損失は8億8千6百万円(前年同期は経常損失2千9百万円)、四半期純損失は16億2千2百万円(前年同期は四半期純損失3千1百万円)となりました。なお、WP-1303の緑内障・高眼圧症を適応症とした開発を中止したことに伴い、繰延税金資産を取り崩しております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

医薬事業では「マキユイド眼注用40mg」、「カルテオロール塩酸塩L A点眼液」、「ドルモロール配合点眼液」の売上が増加いたしました。長期収載品である「ジクロード点眼液0.1%」、「リズモンT G点眼液」の売上が減少いたしました。その結果、売上高は32億3千6百万円(前年同期比1.2%減)となりました。

ヘルスケア事業では、主力製品の「強力わかもと」、通販事業における「アバンビーズ オーラルタブレット」の売上が増加いたしました。その結果、売上高は17億4千1百万円(前年同期比15.4%増)となりました。

国際事業では、輸出用の「マキユイド眼注用40mg」、輸出用原料薬品が減少いたしました。その結果、売上高は3億1千1百万円(前年同期比10.8%減)となりました。

不動産賃貸業の主たる収入はコレド室町関連の賃貸料であります。売上高は9千1百万円(前年同期比0.4%減)となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末から6億2百万円減少し、26億5千9百万円となりました。その内容の主なものは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動により減少した資金は5億4千万円となりました。(前年同期に比べ支出が8億4百万円増加)

この主な要因は、税引前四半期純損失が8億8千6百万円、非資金支出項目である減価償却費が2億3千2百万円、売上債権の減少が4億6千万円、仕入債務の減少が1億3千3百万円あった一方、たな卸資産の増加が7千4百万円あったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動により減少した資金は1千9百万円となりました。(前年同期に比べ支出が1億4千9百万円減少)

この主な要因は、有形固定資産の取得による支出が3千1百万円あったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動により減少した資金は4千2百万円となりました。(前年同期に比べ支出が1億4千2百万円減少)

この主な要因は、長期借入金の返済が4千万円あったためであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社が対応すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期累計期間における当社の研究開発活動の金額は12億9千4百万円であります。なお、当第2四半期累計期間において、WP-1303の緑内障・高眼圧症を適応症とした開発の中止を決定いたしました。

今後につきましては、引き続き永続的企業発展のために眼科領域の新薬開発を基本に、成長分野での長期的視点に立った研究開発を推進してまいります。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 120,000,000 |
| 計 | 120,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年9月30日) | 提出日現在発行数(株) (2019年11月13日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|------------------------------------|------------------------------|------------------------------------|---|
| 普通株式 | 34,838,325 | 34,838,325 | 東京証券取引所 市場第一部 | 権利内容に何ら 限定のない当社 における標準と なる株式であ り、単元株式数 は100株であり ます。 |
| 計 | 34,838,325 | 34,838,325 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数 (株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額(千円) | 資本準備金残 高(千円) |
|--------------------------|-----------------------|------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 2019年7月1日～ 2019年9月30日 | - | 34,838,325 | - | 3,395,887 | - | 2,675,826 |

(5)【大株主の状況】

2019年9月30日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (千株) | 発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%) |
|--------------|--------------------|---------------|---|
| キッセイ薬品工業株式会社 | 長野県松本市芳野19番48号 | 3,778 | 10.88 |
| 株式会社プレストシーブ | 大阪府茨木市西駅前町5番10号 | 2,500 | 7.20 |
| 朝日生命保険相互会社 | 東京都千代田区大手町2丁目6番1号 | 1,720 | 4.95 |
| わかもと製薬取引先持株会 | 東京都中央区日本橋本町2丁目2番2号 | 1,575 | 4.53 |
| 株式会社千葉銀行 | 千葉県千葉市中央区千葉港1番2号 | 1,322 | 3.81 |
| ゼリア新薬工業株式会社 | 東京都中央区日本橋小舟町10番11号 | 1,235 | 3.56 |
| 日本ゼトック株式会社 | 東京都新宿区西新宿1丁目26番2号 | 1,201 | 3.46 |
| アクサ生命保険株式会社 | 東京都港区白金1丁目17番3号 | 1,128 | 3.24 |
| ロート製薬株式会社 | 大阪市生野区巽西1丁目8番1号 | 1,105 | 3.18 |
| 株式会社みずほ銀行 | 東京都千代田区大手町1丁目5番5号 | 1,093 | 3.14 |
| 計 | - | 16,658 | 47.99 |

(6)【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 130,500 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 34,663,800 | 346,638 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 44,025 | - | - |
| 発行済株式総数 | 34,838,325 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 346,638 | - |

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が3,700株(議決権の数37個)含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|------------|-----------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| わかもと製菓株式会社 | 中央区日本橋本町二丁目2番2号 | 130,500 | - | 130,500 | 0.37 |
| 計 | - | 130,500 | - | 130,500 | 0.37 |

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当第2四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について、仰星監査法人による四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は、子会社がないため、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

1【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (2019年9月30日) |
|-------------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,261,813 | 2,659,319 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,642,776 | 3,182,734 |
| 商品及び製品 | 1,379,604 | 1,527,820 |
| 仕掛品 | 420,277 | 486,408 |
| 原材料及び貯蔵品 | 674,191 | 533,973 |
| 未収還付法人税等 | 22,421 | 3,777 |
| その他 | 224,532 | 269,924 |
| 貸倒引当金 | 728 | - |
| 流動資産合計 | 9,624,888 | 8,663,959 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 7,822,381 | 7,822,151 |
| 減価償却累計額 | 4,737,190 | 4,836,310 |
| 建物(純額) | 3,085,190 | 2,985,840 |
| 構築物 | 268,504 | 268,504 |
| 減価償却累計額 | 221,287 | 224,997 |
| 構築物(純額) | 47,216 | 43,506 |
| 機械及び装置 | 8,034,589 | 8,043,699 |
| 減価償却累計額 | 7,531,062 | 7,581,449 |
| 機械及び装置(純額) | 503,527 | 462,249 |
| 車両運搬具 | 45,455 | 45,455 |
| 減価償却累計額 | 35,110 | 37,799 |
| 車両運搬具(純額) | 10,344 | 7,655 |
| 工具、器具及び備品 | 969,411 | 984,310 |
| 減価償却累計額 | 846,202 | 862,315 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 123,209 | 121,995 |
| 土地 | 82,947 | 82,947 |
| 建設仮勘定 | 55,035 | 55,035 |
| 有形固定資産合計 | 3,907,470 | 3,759,230 |
| 無形固定資産 | | |
| 特許実施権 | 300,000 | 300,000 |
| 特許権 | 228 | 168 |
| ソフトウェア | 168,229 | 127,915 |
| ソフトウェア仮勘定 | - | 18,962 |
| その他 | 3,680 | 3,680 |
| 無形固定資産合計 | 472,138 | 450,725 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,634,497 | 2,456,007 |
| 保険積立金 | 498,817 | 455,101 |
| 繰延税金資産 | 310,990 | - |
| その他 | 358,241 | 351,310 |
| 貸倒引当金 | 43,036 | 41,736 |
| 投資その他の資産合計 | 3,759,510 | 3,220,682 |
| 固定資産合計 | 8,139,118 | 7,430,638 |
| 資産合計 | 17,764,006 | 16,094,597 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (2019年9月30日) |
|--------------|-----------------------|----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,322,362 | 1,214,118 |
| 短期借入金 | 140,000 | 100,000 |
| 未払法人税等 | 19,794 | 28,833 |
| 賞与引当金 | 141,600 | 115,300 |
| 返品調整引当金 | 4,000 | 3,000 |
| その他 | 1,080,773 | 1,000,314 |
| 流動負債合計 | 2,708,530 | 2,461,566 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 1,123,035 | 1,088,499 |
| 長期預り金 | 169,327 | 169,327 |
| 繰延税金負債 | - | 361,833 |
| その他 | 2,134 | 533 |
| 固定負債合計 | 1,294,496 | 1,620,194 |
| 負債合計 | 4,003,027 | 4,081,760 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,395,887 | 3,395,887 |
| 資本剰余金 | 2,675,828 | 2,675,828 |
| 利益剰余金 | 6,596,110 | 4,973,220 |
| 自己株式 | 36,056 | 36,107 |
| 株主資本合計 | 12,631,770 | 11,008,829 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,129,208 | 1,004,008 |
| 評価・換算差額等合計 | 1,129,208 | 1,004,008 |
| 純資産合計 | 13,760,978 | 12,012,837 |
| 負債純資産合計 | 17,764,006 | 16,094,597 |

(2) 【四半期損益計算書】

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 5,226,498 | 5,381,050 |
| 売上原価 | 2,322,454 | 2,333,217 |
| 売上総利益 | 2,904,043 | 3,047,833 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,948,770 | 3,948,332 |
| 営業損失() | 44,726 | 900,499 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 16 | 13 |
| 受取配当金 | 23,862 | 24,403 |
| 為替差益 | - | 708 |
| その他 | 8,629 | 5,549 |
| 営業外収益合計 | 32,509 | 30,674 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,030 | 375 |
| 固定資産除却損 | 814 | 282 |
| 寄付金 | 13,145 | 13,082 |
| 為替差損 | 399 | - |
| その他 | 2,217 | 2,607 |
| 営業外費用合計 | 17,606 | 16,348 |
| 経常損失() | 29,824 | 886,173 |
| 特別損失 | | |
| 事務所移転費用 | 550 | - |
| 特別損失合計 | 550 | - |
| 税引前四半期純損失() | 30,375 | 886,173 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 8,761 | 8,748 |
| 法人税等調整額 | 7,671 | 727,967 |
| 法人税等合計 | 1,090 | 736,716 |
| 四半期純損失() | 31,465 | 1,622,889 |

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純損失() | 30,375 | 886,173 |
| 減価償却費 | 225,282 | 232,704 |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 33 | 2,028 |
| 退職給付引当金の増減額(は減少) | 8,530 | 34,535 |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 59,000 | 26,300 |
| 受取利息及び受取配当金 | 23,879 | 24,416 |
| 支払利息 | 1,030 | 375 |
| 固定資産除却損 | 814 | 282 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 167,318 | 460,042 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 136,633 | 74,129 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 109,290 | 133,831 |
| 未収消費税等の増減額(は増加) | - | 71,653 |
| 未払消費税等の増減額(は減少) | 34,333 | - |
| 預り敷金及び保証金の受入による収入 | 735 | - |
| その他 | 99,186 | 166,853 |
| 小計 | 310,871 | 583,210 |
| 利息及び配当金の受取額 | 23,879 | 24,416 |
| 利息の支払額 | 1,152 | 375 |
| 法人税等の還付額 | - | 22,421 |
| 法人税等の支払額 | 69,530 | 4,053 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 264,069 | 540,801 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | 68,082 | 31,047 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 37,213 | 24,252 |
| 投資有価証券の取得による支出 | 1,789 | 1,854 |
| 投資その他の資産の増減額(は増加) | 61,387 | 37,688 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 168,472 | 19,466 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | 80,000 | 40,000 |
| 自己株式の取得による支出 | 18 | 48 |
| 自己株式の処分による収入 | 71 | - |
| 配当金の支払額 | 103,378 | 576 |
| リース債務の返済による支出 | 1,600 | 1,600 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 184,925 | 42,225 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 89,329 | 602,494 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,848,577 | 3,261,813 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,759,248 | 2,659,319 |

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

四半期会計期間末日満期手形

四半期会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、前事業年度末日が金融機関の休日であったため、次の四半期会計期間末日満期手形が前事業年度末日残高に含まれております。

| | 前事業年度 (2019年 3月31日) | 当第 2 四半期会計期間 (2019年 9月30日) |
|------|--------------------------|---------------------------------|
| 支払手形 | 3,673千円 | - |

(四半期損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

| | 前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|------------|---|---|
| 発送費 | 87,189千円 | 106,141千円 |
| 広告宣伝費 | 203,885 | 321,061 |
| 販売促進費 | 517,507 | 558,401 |
| 給料手当及び賞与 | 709,199 | 701,344 |
| 退職給付引当金繰入額 | 24,359 | 24,877 |
| 福利厚生費 | 115,380 | 112,736 |
| 賃借料 | 41,538 | 39,483 |
| 減価償却費 | 33,268 | 36,633 |
| 旅費及び交通費 | 108,564 | 107,875 |
| 貸倒引当金繰入額 | 33 | 728 |
| 研究開発費 | 544,290 | 1,294,732 |

賞与引当金繰入額は給料手当及び賞与に含めて表示しております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

| | 前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|-----------|---|---|
| 現金及び預金勘定 | 3,759,248千円 | 2,659,319千円 |
| 現金及び現金同等物 | 3,759,248 | 2,659,319 |

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

2018年6月21日の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

| | |
|----------|------------|
| 配当金の総額 | 104,124千円 |
| 1株当たり配当額 | 3.0円 |
| 基準日 | 2018年3月31日 |
| 効力発生日 | 2018年6月22日 |
| 配当の原資 | 利益剰余金 |

当第2四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

無配のため記載すべき事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 | 合計 | 調整額 | 四半期 損益計算 書計上額 (注)1 |
|-----------------------|-----------|-----------|---------|--------|-----------|-----|-----------|-----|-----------------------------|
| | 医薬事業 | ヘルスケア事業 | 国際事業 | 不動産賃貸業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,276,257 | 1,508,850 | 349,378 | 92,012 | 5,226,498 | - | 5,226,498 | - | 5,226,498 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 計 | 3,276,257 | 1,508,850 | 349,378 | 92,012 | 5,226,498 | - | 5,226,498 | - | 5,226,498 |
| セグメント利益又は 損失() | 261,071 | 129,973 | 48,470 | 37,901 | 44,726 | - | 44,726 | - | 44,726 |

(注)1.セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

当第2四半期累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 | 合計 | 調整額 | 四半期 損益計算 書計上額 (注)1 |
|-----------------------|-----------|-----------|---------|--------|-----------|-----|-----------|-----|-----------------------------|
| | 医薬事業 | ヘルスケア事業 | 国際事業 | 不動産賃貸業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,236,514 | 1,741,342 | 311,507 | 91,685 | 5,381,050 | - | 5,381,050 | - | 5,381,050 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 計 | 3,236,514 | 1,741,342 | 311,507 | 91,685 | 5,381,050 | - | 5,381,050 | - | 5,381,050 |
| セグメント利益又は 損失() | 1,023,665 | 45,831 | 39,963 | 37,372 | 900,499 | - | 900,499 | - | 900,499 |

(注)1.セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2.報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント区分の変更)

当社は従来、「医薬事業」「ヘルスケア事業」「特販事業」の3つを報告セグメントとしておりましたが、前第3四半期会計期間より、海外の開発部門と営業部門を統合し、一体ならびに効率運営を図り更なるグローバル事業展開を強化するために「国際事業本部」を新設する組織変更を行いました。このため経営管理の観点から、従来の報告セグメントである「特販事業」を「国際事業」に名称を変更し、従来「特販事業」に区分していた国内向けの医薬品原料の販売ならびに受託製造販売に関わる事業を「医薬事業」に変更しております。

また、前第4四半期会計期間より、従来「その他」に区分していた「不動産賃貸業」については量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失()及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|----------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純損失() | 0円91銭 | 46円76銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純損失()(千円) | 31,465 | 1,622,889 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純損失()(千円) | 31,465 | 1,622,889 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 34,708 | 34,707 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月13日

わかもと製薬株式会社

取締役会 御中

仰 星 監 査 法 人

指 定 社 員 公 認 会 計 士 野 口 哲 生 印
業 務 執 行 社 員

指 定 社 員 公 認 会 計 士 新 島 敏 也 印
業 務 執 行 社 員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているわかもと製薬株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの第125期事業年度の第2四半期会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、わかもと製薬株式会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

会社の2019年3月31日をもって終了した前事業年度の第2四半期会計期間及び第2四半期累計期間に係る四半期財務諸表並びに前事業年度の財務諸表は、それぞれ、前任監査人によって四半期レビュー及び監査が実施されている。前任監査人は、当該四半期財務諸表に対して2018年11月9日付けで無限定の結論を表明しており、また、当該財務諸表に対して2019年6月14日付けで無限定適正意見を表明している。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。